

急速な経済発展、そして、オリンピック開催で世界の注目を浴びる中国。だが、わずか100年ほど前までの中国は、皇帝が君臨し、人々を支配する国であった。その清王朝を倒し、秦の始皇帝以来の約2200年にわたった皇帝支配に終止符を打った指導者が孫文であり、辛亥革命である。その孫文と九州との関わりは深い。経済的に援助した長崎県出身の梅屋庄吉や、中国同盟会が東京で組織される手助けをした熊本県出身の宮崎滔天、等々。

孫文の辛亥革命を支えた当時の日本人の思いはいかなものだったのか。そして、近代化に邁進する明治政府の思いは、孫文に肯定的だったのか、否定的だったのか。先の見えない激動の明治時代の中で、悩みながらもよりよい選択を迫られた明治の人々の思いに触れさせることで明治という時代をイメージさせる、そんな歴史のおもしろさに迫ります。

社会科（歴史的分野）学習指導案

日 時 平成20年11月14日（金）第2校時

場 所 熊本大学附属中学校 体育館

年 組 熊本市立龍田中学校 2年2組

男子17名 女子19名 計36名

指導者 熊本市立龍田中学校 教諭 坂田秀一

1 単元名「立憲政治のはじまりと日清・日露戦争（明治時代）」

～辛亥革命と日本の関係を中心に～」（教育出版P122～139）

2 単元について

(1) 単元観

本単元は、新学習指導要領において、「自由民権運動、大日本帝国憲法、日清・日露戦争、条約改正などを通して、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的地位が向上したことを理解させる」と示してある。

明治の初め、欧米列強が勢力を広げる国際情勢の中で、独立を保つため近代国家になる必要があると考えた明治政府は、短期間で諸改革に取り組んだ。そして、政府の富国強兵・殖産興業政策の下で進展した我が国の近代産業は、産業革命を経て発展し、国民生活が向上した。さらに、大日本帝国憲法の制定や日清・日露戦争の勝利は、条約改正を通して国際的地位の向上にもつながっていった。その一方で、自由民権運動や民間の憲法案、政党の結成、労働問題の解決など、民権派の動きも盛んになっていった。

このように本単元で扱う明治時代は、欧米と同質の近代化を果たそうとする日本の立場と、近代化した欧米と対峙しながらも、アジアの一国として自己変革を成し遂げていこうとする日本の立場が共存し、先の見えにくい状況の中で国家としての選択を迫られた時代である。よって、当時の政府や人々が、どのような思いで日本の近代国家の基礎を整えていったかに気づかせ、国づくりのために尽力した人々の思いに触れさせる大変価値ある時代でもある。

さらに「辛亥革命と日本」という題材は、明治政府がめざした欧米列強を意識した国づくりと、孫文が理想としたアジア初の共和制国家の国づくりを、現代に生きる生徒たちの視点で、多面的・多角的に考えさせるには、大変意義のある題材であると考えられる。

(2) 系統観

小学校		
3・4年生 (5) 地域の人々の生活 ・昔の暮らしに関わる道具 ・地域に残る文化財や伝統行事 ・地域の発展につくした先人	→	6年生 (1) 日本の歴史 カ 明治維新をつくりあげた人々 キ 世界に歩み出した日本 ク 長く続いた戦争
↓ ↓		
中学校・歴史的分野		
(5)イ 2節「明治維新」 ・封建制度の解体 版籍奉還と廃藩置県 ・明治政府の諸改革 富国強兵と殖産興業 ・明治初期の外交 岩倉使節団、朝鮮との外交、国境の確定	→	(5)ウエ 3節「立憲政治の始まりと日清日露戦争」 ・自由民権運動と政党の誕生 ・憲法の発布と議会の開設 ・条約改正と日清戦争 ・三国干渉と義和団事件 ・日露戦争と韓国併合 ・辛亥革命と日本

(3) 生徒観

観察やアンケートの結果により明らかになった実態は次の通りである。(在籍36人)

<p>①情意・意識の面から</p> <p>(a) 歴史は好きですか。</p> <p>大好き…26% 好き…44% あまり好きではない…26% きらい…4%</p> <p>(b) 資料等を活用して、自分の考えをまとめることができますか</p> <p>できる…16% だいたいできる…34% あまりできない…42% できない…8%</p> <p>②知識・理解・態度の面から</p> <p>(a) 明治維新について知っていることに○を付けてください。</p> <p>五箇条の御誓文…80% 五箇の掲示…55% 版籍奉還…90% 学制…65% 徴兵令…88%</p> <p>地租改正…60% 岩倉使節団…60% 征韓論…40% 日清修好条規…25%</p> <p>日朝修好条規…23% 台湾出兵…14% 琉球処分…25% 樺太千島交換条約…38%</p> <p>(b) 孫文の辛亥革命について、知っていますか。</p> <p>知っている…0% 孫文の名前は知っている…21% 知らない…79%</p> <p>③個に応じた学習についての意識の面から</p> <p>(a) どんな学習の方法(形態)が好きですか</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td> ・自分一人で考える学習…24% ・グループで考える学習…76% </td> <td> 自分の考えを話す学習…34% 相手の考えを聞く学習…66% </td> </tr> </table> <p>(b) 学級全体での発表は好きですか。 好き…15% 嫌い…56% どちらでもない…29%</p> <p>(c) 自分の考えに自信が持てれば発表したいですか はい…74% いいえ…26%</p>	・自分一人で考える学習…24% ・グループで考える学習…76%	自分の考えを話す学習…34% 相手の考えを聞く学習…66%
・自分一人で考える学習…24% ・グループで考える学習…76%	自分の考えを話す学習…34% 相手の考えを聞く学習…66%	

○ 社会科の学習では、映像や写真などの視覚的資料に関して、大変興味を示しており、新しいものを学ぶ、新しいものを知ることの楽しさを自ら感じ取ることのできる集団である。しかし、課題に対して適切な資料を活用したり、資料を用いて考えたりすることに苦手意識があり、時間を要する点が課題である。

○ 学級での発表に消極的な理由として、「資料の意味を理解するのが難しい」「言うこと

が思いつかない」「恥ずかしい」等があった。また、多くの生徒は小集団での発表を好む傾向があり、その理由として、「安心して発表できる」「たくさんの意見が聞ける」と答えていた。資料の読み取る視点を与えて一人学びを充実させ、自分なりの考えを持たせてから、互いを認め合いながらみんなで学びあうことのよさをより多く体験させる必要性を感じる。

(4) 指導観

○ 「明治政府は日本をどんな国にしたかったのだろうか？」という学習課題を単元当初に設定し、単元を通した学習課題として意識させながら学習を進める。さらに、単位時間ごとに、スモールステップで価値判断場面を設定する。それぞれの課題に対して、自分なりの考えをまとめさせる。それぞれの課題に対して、明治政府の諸政策と民権派の動きを比較して調べることで、当時の日本政府の思惑や国際情勢、当時の民衆の思いなどに対するイメージをふくらませるようにしたい。

○ 中国では国父といわれる孫文を教材化する。永年の皇帝による専制政治に終止符を打った孫文。近代中国の礎を築いた孫文。その革命を支えた日本人として、地域の人物である宮崎滔天の存在がある。先の見えにくい明治という時代の中で、時には政府の役人として、そして政府とは違う立場として孫文を支援していった人物を通して、その当時の人々の思いにふれさせ、多面的な時代の見方・考え方を培いたい。

そして、生徒にとって身近な人物を通して、複雑な時代を生きた人々の生き方や考え方に触れ、自分自身も主体的に時代を生きていこうとする態度と歴史への興味を喚起したい。

○ 「今のあなたなら辛亥革命を応援しますか」と「なぜ、明治政府は辛亥革命を積極的には応援しなかったのだろうか」という価値判断場面を設定する。生徒たちに、それまで学習してきた判断材料をもとに、今の時代に生きる自分の立場と、当時の明治政府の立場になって価値判断をさせる。結果的には辛亥革命を支援しなかった当時の日本政府内にも、様々な意見があった。弱体化する清政府を倒す革命軍を支援し、新政府で有利な関係を結ぶのか。現状を見守りながら、欧米列強の様子をうかがうのか。

先の見えにくい時代にあって、明治政府も判断に迷った場面である。生徒たちが自分なりの意見を整理し、人にわかりやすく説明することで、当時の人々の思いに触れたり、明治という時代のイメージをふくらませることができると考える。

3 単元の目標

【確かな意欲】

欧米列強のアジア進出と、アジアの中の日本の立場に興味を持ち、明治政府が天皇中心の中央集権国家をめざして行う政策などについて、当時の政府の思いに触れながら、意欲的に追究させる。

【確かな知識】

明治政府の立場から、国際的な地位の向上とアジアの中での関係のあらましを、廃藩置県や岩倉使節団、大日本帝国憲法の制定、日清・日露戦争、条約改正などを通して理解し、その知識を身につけさせる。

【確かな判断】

日清・日露戦争や義和団事件における欧米諸国の利害関係や明治政府の政策について、諸外国に対する明治政府側からと民衆側などから考察し、公正に判断させる。

【資料活用の技能・表現】

アジア初の立憲制国家の成立から韓国併合までの日本やアジアの動きについて、資料集などから情報などを収集し、課題に対して適切にまとめたり、説明させる。

4 単元の指導計画（13時間取り扱い 本時 10/13）

過程	次	時	主な学習活動	おもな手だて（学習課題）	評価
つかむ	1	3	<p>●新政府の方針や版籍奉還や廃藩置県などの内容を調べ、中央集権国家への体制づくりを理解する。</p> <p>●政府が行った富国強兵と殖産興業のための具体的な内容を理解する。</p> <p>●諸改革が人々へもたらした影響について理解する。</p> <p>●岩倉使節団を調査し、当時の明治政府が手本とした国の方向性を理解する。</p> <p>●領土確定に関して、政府が行った朝鮮との外交や国境の確定を理解する。</p>	<p>・「なぜ廃藩置県に踏みきったのでしょうか」を調べさせることで、中央主権国家をめざした思いに気づかせる。</p> <p>・「三大改革（学制・徴兵令・地租改正）に賛成か、それとも反対か」を話し合わせることで、当時の政府と国民の思いの違いに気づかせる。</p> <p>・「岩倉使節団は、なぜ、イギリスとドイツを手本とした国をめざしたのでしょうか」を調べさせることで、のちの大日本帝国憲法制定のねらいについて気づかせる。</p>	<p>・欧米列強のアジア進出と、アジアの中の日本の立場に興味を持ち、政府が中央集権国家をめざして行う政策などについて、政府の思いに触れながら、意欲的に追究できる。（ワークシート）</p> <p>【関心・意欲・態度】</p>
イメージする	2	5	<p>●専制政治への不満として広がった自由民権運動が、国会開設や士族の反乱へとつながり、国会開設への動きの中で、憲法案や政党が作られたことを理解する。</p> <p>●民権派に対する政府の取り締まりや秩父事件などの急進的な動きがおこったことを理解する。</p> <p>●国会開設へ向けた動きの中で、政府は内閣制度を確立したり、君主権の強いプロイセンの憲法を手本とし、欽定憲法を制定したことを理解する。</p> <p>●大日本帝国憲法では、天皇が統治者として権限を持つ一方、日本がアジアで初</p>	<p>・「なぜ板垣退助の民選議院設立の建白書を受け入れなかったのでしょうか」や「なぜ国会開設まで10年の間を開けたのでしょうか」を調べさせることで、当時の政府が政府主導で国づくりを進め、植民地化を避けるために欧米列強に追いつく国をめざした思いについて、気づかせる。</p> <p>・「政府が制定したアジア初の憲法である帝国憲法をどう評価しますか」について自分の考えをまとめることを通して、天皇中心の君主制国家をめざした政府の方針を確認させる。</p> <p>・帝国憲法の特徴を、岩倉使節団がめざした国づくりと比較しながら振り返ることで、欧米列</p>	<p>・アジア初の立憲制国家の成立から韓国併合までの日本やアジアの動きについて、資料集などから情報などを収集し、課題に対して適切にまとめたり、説明させる。（発表内容・ワークシート）</p> <p>【技能・表現】</p>

		<p>めての立憲国家として、選挙に基づく議会政治が始められたことを理解する。</p> <p>●近代的な諸制度を整えたことや、ロシアをめぐる東アジアの国際情勢の変化から、条約改正の道が開け、国際的な地位を高めたことを理解する。</p> <p>●朝鮮をめぐる勢力争いが清との対立を生み、日清戦争を引き起こす原因となったことに気づく。</p> <p>●日清戦争に敗北した中国をめぐり、列強による中国分割が進んだことと、中国民衆の抵抗運動である義和団事件に対して、連合軍の主力として参加した日本政府のねらいを理解する。</p> <p>●日本とイギリスがロシアへの対抗策として日英同盟を結んだことを理解する。</p> <p>●韓国や満州をめぐるロシアとの勢力争いから、日英同盟を盾に開戦に踏み切った政府側と、戦争反対派側の思いを比較する。</p> <p>●講和条約に調印した小村寿太郎の思いや、日本の勝利が世界の国々の民族独立に与えた影響や日本への留学生が激増したことについて理解する。</p> <p>●戦争後、日本は韓国を植民地化し、日本語教育の強制や土地の収奪などを行って、朝鮮の人々の主権を侵害したことを理解する。</p>	<p>強を意識した、アジア初の立憲国家をめざした政府の思いに気づかせる。</p> <p>・「どうして何年もかけて条約改正をしようとしたのでしょうか」を調べることで、必死な思いで欧米列強と対等な関係を結ぼうと努力した政府の思いに気づかせる。</p> <p>「政府は日清戦争後、日本をどんな国にしようとしたのでしょうか」を考えることで、大陸進出をめざす思いに気づかせる。</p> <p>・「政府は、なぜ義和団事件に対して、連合軍の主力として兵を送ったのだろうか」を考えることで、日清戦争に勝利したことで、弱体化する清に対して、欧米列強と同じく中国分割に乗り出す政府の方針や、ロシアとの対立につながる原因を想像させる。</p> <p>・「政府は、なぜイギリスと結び、日露戦争は日本にどのような影響を与えたのだろうか」を考えさせることで、韓国や満州をめぐるロシアとの勢力争いや、イギリスとの利害関係をまとめさせる。</p> <p>・「政府は、韓国併合や満州進出することで、日本をどんな国にしたかったのでしょうか」を考えることで、日本が韓国を植民地化し、大陸への進出を進めていくことを理解する。</p>	<p>・日清・日露戦争や義和団事件における欧米諸国の利害関係や明治政府の政策について、諸外国に対する明治政府側からと民衆側などから考察し、公正に判断させる。</p> <p>(発表内容・学習シート)</p> <p>【思考・判断】</p>	
再構成	3	2	●アヘン戦争後、欧米列強	・孫文の三民主義の実現を目指	・政府の立場か

する		<p>の帝国支配を受け続ける民衆の生活や、清王朝の専制的な支配を受け続ける民衆の様子について理解する。</p> <p>●孫文の唱えた三民主義の目指した理想について理解する。</p> <hr/> <p>●辛亥革命に対して、明治政府が支援できなかった理由を、それまで学習してきた明治政府の政策を中心に考え、政府がめざした国づくりについて理解する。</p>	<p>す中国同盟会が日本の東京で組織され、辛亥革命により中華民国が誕生したことを通して、アジア初の共和制国家が誕生したことをの歴史的意義を考えさせる。</p> <hr/> <p>・「政府はなぜ孫文の辛亥革命を応援しなかったのだろうか」について考えをまとめさせることで、政府の思惑や国際情勢、当時の民衆の思いに対するイメージをふくらませる。</p>	<p>ら国際的な地位の向上とアジアの中での日本のあらしを、政府の諸政策などを通して理解し、その知識を身につけることができる。</p> <p>(学習シート)</p> <p>【知識・理解】</p>
定着させる	4 2	<p>●日本の産業革命は、軽工業から発展し、1890年代に資本主義の基礎が確立したことを理解する。</p> <p>●工業や鉄道網の発達は、都市や農村の生活に大きな変化をもたらしたことを理解する。</p> <hr/> <p>●急速な工業化の中で、労働条件の改善を求めて労働運動がおこり、資本主義の矛盾に対して社会主義運動がおきたことを理解する。</p> <p>●足尾銅山鉍毒事件のような公害問題を引き起こしたことを理解する。</p>	<p>・「日本の産業革命はいつ頃から始まったのだろうか」を、日清・日露戦争の時期と対比しながらまとめることで、政府主導で急速に発展していく産業の変化や、人々の生活範囲が大きく広がったことに気づかせたい。</p> <hr/> <p>・「日本でも資本主義の矛盾はおきたのでしょうか」をイギリスのそれと比較しながらまとめることで、社会主義運動の起こりを理解し、不十分な対策のために被害が深刻化したことも理解させる。</p>	<p>・欧米列強に負けない国づくりをめざした明治政府の諸政策が、国内の産業や生活をどのように変化させたかを、意欲的に追究できる。</p> <p>(発表内容・学習シート)</p> <p>【思考・判断】</p>
ふくらませる	5 1	<p>●西洋文化の影響を受けた文学・美術が発展したことや、学校教育の普及や情報の広がったことに気づく。</p> <p>●高等教育や女子教育が高まる一方で、「家」を重んじる考え方が強まっていったことを理解する。</p>	<p>・国民生活や文学・美術の分野から「明治政府はどんな国を作りたいかったのだろうか」という単元を貫く学習課題を考えさせ、明治という時代に日本独特の国民的文化が形成されたことに気づかせる。</p>	<p>・西洋の物質文明の影響を受けながら、アジアの精神文化をも持つ日本の特徴を明治という時代からイメージできる。(発表内容・学習シート)</p> <p>【知識・理解】</p>

5 本時の学習

(1) 本時の目標

- アジア初の共和制国家の成立につながる辛亥革命を、明治政府が積極的に応援しなかった理由を、今までの学習内容をもとに考えることができる。

(2) 展開

過程	時間	主な学習活動	教師の指導と支援 (予想される生徒の反応)	その他 教材・資料
導入	3	1 1枚の集合写真の中から孫文を見つける。 【一斉】	○1枚の集合写真の中から孫文を見つけさせ、前時で学習した辛亥革命と孫文について思い出させる。 ○前時で習った人がいます。誰で、どこにいるのでしょうか、探しましょう。	集合写真 孫文の写真 年表
展開	なぜ、明治政府は孫文の辛亥革命を積極的に応援しなかったのだろうか？			
	10	2 現代中国における孫文の評価を知る。 【一斉】	○国父とされ、革命により若者に勇気と希望を与えたとされる国民的英雄孫文の南京での評価を紹介する。	中国南京中山陵のDVD
	3	3 孫文を支えた宮崎滔天の思いや考えを知る。 【一斉】	○写真と一緒に写っている宮崎滔天し、中国にわたり、革命を支えたことを紹介する。	宮崎滔天の写真 ・言葉 「理想は実行すべきなり、実行すべからざるは夢想なり」
	2	4 現在の自分で孫文の考えを判断する。 【個人】	○もし、今のあなたなら、孫文の辛亥革命を応援しますか？	
	15	5 明治政府が応援しない理由について考える。 【班】	○意見を交換し、班としての意見をまとめる。	
<p>【予想される生徒たちの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①革命が成功すると日本国内が混乱する ②共和制（民主制）は当時の日本には早すぎる ・三民主義の考えは、明治政府の考えと違う ・孫文と明治政府の目指した国が違う ③天皇中心の中央集権国家をめざす日本には合わない ④欧米の国々と違う対応をするとまずい・欧米列強と動きを合わせようとした ⑤革命が成功すると中国に進出できない・国づくりを支援するより中国に進出したい ⑥他国のことに干渉しないほうがいい 				
まとめ	17	6 明治政府が辛亥革命を応援しなかった理由について全体としての意見をまとめる。 【班・一斉】	○明治政府の応援をしない理由を、これまでの政策などを通して説明してみよう。 ○発表された意見が具体的になるように、疑問点があれば全体で考えて、理解を深めるようにする。	クリアシート 単元を貫く学習課題のシート

(3) 本時の評価

- 辛亥革命に積極的に応援しなかった明治政府の立場を、今までの学習内容や資料などを用い、自分なりの理由をまとめることができたか。

